

厚生労働省 令和5年度 老人保健健康増進等事業
「外国人介護人材キャリア育成手法の現場実践による効果性に関する調査研究事業」
公開シンポジウム

外国人介護人材といっしょに わかりあう・学び合うプログラムの 活用促進について

令和6（2024）年3月16日

神山 資将

一般社団法人 知識環境研究会
会頭（代表理事）

外国人介護人材

といっしょに

わかりあう

学び合う

プログラム

外国人介護人材
といっしょに
わかりあう
学び合う
プログラム

経験・実践するハイム

コミュニケーションハイム

外国人介護人材
といっしょに
わかりあう
学び合う
プログラム

言葉として表現する。

話し合い、調べ、納得する。

次の課題を見つける。

本プログラムに込められた4つのエッセンス

知識共創

外国人介護人材と日本人介護職員、
外国人介護人材と利用者等が
ケアをいっしょに創る。

学ぶこと=教えること

プログラムに参加する者が
お互いを尊重して、
互いに学び合う現場を創る。

全員参加のケア

「正解」を追求するだけでなく、
「大切なことを共有・共創」する。

地域でつながる

ケアのあり方を地域で共有し、
地域アクター全体で発展していく。
【介護養成校が担う大切な役割】

知識共創

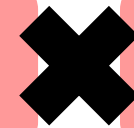
知識共創とは、
解決策や考え方（いわゆる知識）などを
ともに創ること

外国人



日本人

個人



組織

個人



個人

職員



利用者

組織



組織

知識共創

ケアの品質

計測可能な品質

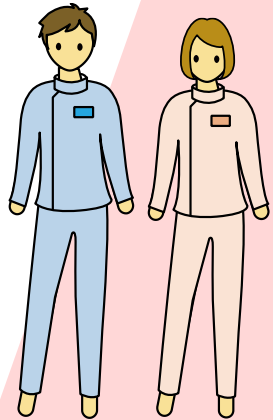
医学生理学的な品質等は
誰でも共通して品質の基準が
設定できる。

個別・文脈的な品質

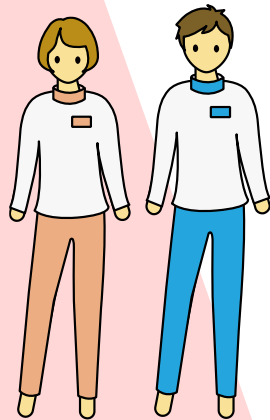
ひとの個別性によって、左右される
品質で、一意に設定できない。
「動的」で
「常に、状況に応じて創られるもの」

「教える」ことで「学ぶ」 「学ぶ」ことで「教える」

教える側

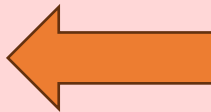
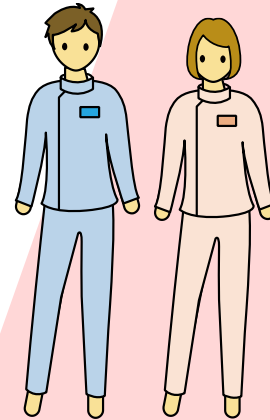


学ぶ側

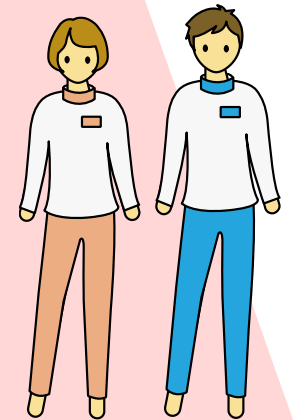


「外国人介護人材を育てる」
という
固定的な視点

教え・学ぶ側

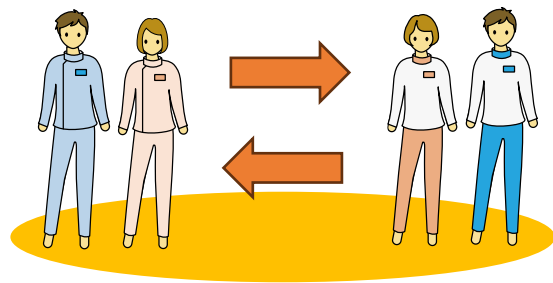


教え・学ぶ側



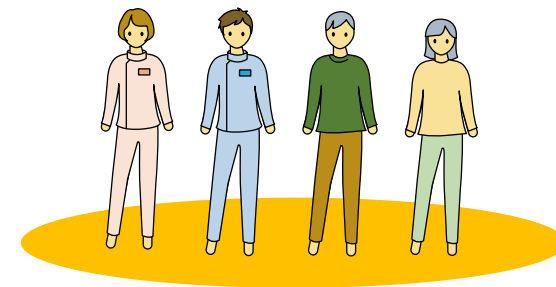
「外国人介護人材をきっかけに
チーム、事業所の全員が
教え合い、学び合う」という
双方向の視点

全員が参加してケアを創る



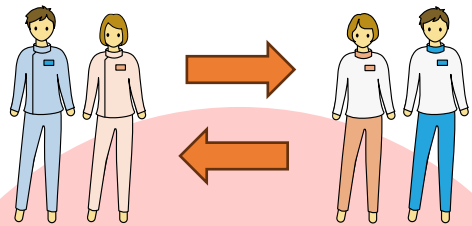
**知識共創の姿勢
教え・学ぶ
双方向の姿勢
が備わる。**

**チーム、事業所の
より多くの職員が
参加することで、
ケアを考える
ケアをカイゼンする
文化が育つ。**



**ケアの
品質が
向上する。**

外国人介護人材の成長で地域がつながる



知識共創の姿勢

互いに
学ぶ教える姿勢

全員が
参加する姿勢



個別性の高い
価値観・状況に
対応した
「目標とする
ケアの品質」
を追求



地域コミュニティが
つながり、
地域コミュニティで
ケアの価値について
知識共創で考える。

外国人介護人材が成長する環境づくり
(外国人介護人材といっしょに、わかりあう・学び合うプログラム)

外国人介護人材

といっしょに

わかりあう

学び合う

プログラムを

いっしょに活用していきましょう。